

シリーズ「アメリカン・ディアスポラ」第2回

アメリカ大陸の基層には、移動性が組み込まれている。「アメリカン・ディアスポラ」シリーズでは、アメリカ大陸を移動・還流する人々に焦点をあて、主要な受け入れ側である北米とともに、送り出し側のラテンアメリカの双方の視点から、多様なディアスポラによる社会変化について考えてみたい。

キューバ・センチメンタル



田沼 幸子

大阪大学人間科学研究科 特任研究員

17:00- 上映会

「キューバ・センチメンタル」

ドキュメンタリー制作：田沼 幸子

18:30- 講演会

「私たちは、乗ってきた船を焼くようなもの」

— 革命キューバを去るといふことの意味

1959年のキューバ革命後、国を出て行くことは「革命にそむくこと」とみなされ、国民の出国も、キューバへの帰国も困難なものとなった。帰国できなくなることを知りながら出国をこころざし、未知の地にとどまる ということはどういうことなのか。当事者の語りをとらえた映像作品 Cuba Sentimentalから例をとりつつ、歴史的・社会的背景を明らかにする。

日時： 6月17日(金)

17:00-20:00

会場： 博遠館 212 番教室

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp